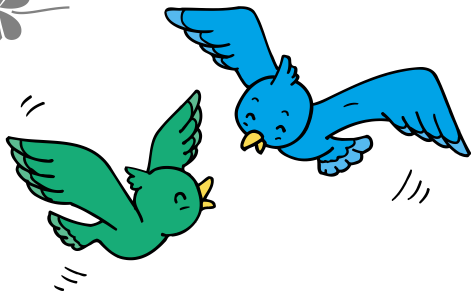


私にもできるフェアトレード 内部学習会を行っています

おもいやりの気持ちや物を大切にする気持ちを忘れないことも大切ですが、買う者として買う事のあるのではないかと私たちは考えるようになりました。



働く人々のために、ヤギ革製品を是非一度手にとっていただけたらと思います。
組合員メンバー O

私とヤギ革製品の出逢いは猫の小銭入れでした。今では鞆を中心に使わせてもらっています。軽くて使うほど味わい深いものになってきました。このヤギ革製品はインドで作られています。

すべての行程が手作業で作られています。革のなめしは植物タンニンで行われています。一般的にはクロムを使い行われていますが有害廃棄物を出し、汚染水の問題があります。

着色剤には発ガン性の疑いのあるものは使わず、アゾフリー化学染料を使用しています。これらの事は製品を手にとる方々の為だけではなく働く人々の為でもあります。また環境に配慮したものとなっています。

天然素材を使い手作業のために色ムラや傷があったりしますが自然の風合い唯一の物としてご理解いただき、是非一度手にとって頂けたらと思います。



(上)フェアトレードのヤギ革製品生産者。布を丸めた筆でいねいに着色していきます。第3世界ショップより

途上国の人々の現状を知れば知るほど、フェアトレード＝公正な貿易が必要だと強く思いました。

組合員メンバー I

昨年、「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション 真の代償～」という映画を観ました。ファストファッション(最新の流行を採り入れながら低価格に抑えた衣料品を、短いサイクルで世界的に大量生産・販売するファッションブランドのこと)をテーマにしたドキュメンタリーでした。ファストファッションの洋服がなぜ、低価格で供給できるのか?そのカラクリは?それは発展途上国の人々の低賃金労働、劣悪な労働条件のもとでの仕事や

児童労働によるものだと知りショックを受けたのを覚えています。今回、フェアトレード推進チームのメンバーになり、この映画を再度観る機会を得ました。ファストファッションの大量消費、大量廃棄が途上国の人々の環境をも深く傷つけていることを知りました。ファストファッション業界が洋服を安価に生み出すことも問題ですが、その代償を理解しないで購入している私たち消費者の方に問題があるのではないかと考えるようになりました。安価な服を手に入れる前に、自分にとって本当に必要なものなのか、考えることが大切です。消費者の意識を変えることで、今のこの現実を変えることができるのではないかと思います。途上国の人々の現状を知れば知るほど、フェアトレード＝公正な貿易が必要だと強く思いました。以前は高くても質の良いものを長く、大切に使っていたように思います。賢い消費者(顧客)を目指しましょう。



(上)昨年度山梨で上映会を行った映画「ザ・トゥルー・コスト」

映画の中で Bangladesh の衣服労働者の女性は子どもを人に預けながらダッカで働いています。子どもに会えるのは年に1~2回です。その女性は子どもと一緒に暮らせない寂しさを抑えながら、「子どもには自分と同じ人生を歩んでほしくない」「ちゃんと教育を受け幸福になってほしい」と言ったその言葉がずっと心に残っています。



(右)映画「ザ・トゥルー・コスト」より。縫製工場に働いている Bangladesh の女性。年に数回しか会えない娘さんと。

生産者と消費者が、共に納得できる食べ物が流通することが大事。

組合員メンバー N

エコバナナについて学習するためフィリピンの大規模なバナナプランテーションのドキュメンタリー映像を観ました。日本のスーパーなどで売られている、手ごろな値段、手軽に食べられるバナナの多くは、一部のグローバル企業によって、海外で生産されています。バナナの病気を防ぐため、HPP と呼ばれる世界中で使用禁止を訴えられている非常に有害な農薬を高濃度で空中散布しています。この為、生産者や近くの住民、もちろん子供たちや、家畜までもが様々な体調不良の症状が現れ、生産者は企業に対し、空中散布の禁止を求めています。このことを知り、大量生産のため現地の生産者の生命を軽んじた栽培方法に、憤りを覚えると共に、残留農薬の不安も強くなりました。

パルシステムで扱われているバラゴンバナナは、小規模ですが、生産者一人一人の丁寧な作業により、安全なバナナを栽培し、安心して日本の消費者に食べてもらいたいという想いの詰まったバナナでした。生産者と消費者が、共に納得できる事で、皆がきちんと選ぶ目を持てるようになれば、より多くの人々が幸せになれるのではないかと思います。



(右)農業に頼らず、安心安全なバナナを栽培するバラゴンバナナ生産者 ATJ

私にも何かできるかな?と思ったら、お買い物で始めてみませんか?

数ある商品の中からフェアトレードを選ぶことで、社会を変えることができるかもしれません。

